

第6回
朝霞市都市計画マスタープラン庁内検討委員会
議事録

令和7年4月25日

都市建設部 まちづくり推進課

様式第3号（第13条関係）

会議録

| | | |
|---------------|--|--|
| 会議の名称 | 朝霞市都市計画マスタープラン庁内検討委員会 | |
| 開催日時 | 令和7年4月25日（金） 午前13時30分から 午前15時00分まで | |
| 開催場所 | 朝霞市役所 本館5階 501会議室 | |
| 出席者及び欠席者の職・氏名 | 別紙のとおり | |
| 議題 | 別紙のとおり | |
| 会議資料 | 別紙のとおり | |
| 会議録の作成方針 | <input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録 | |
| | <input type="checkbox"/> 要点記録 | |
| | <input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年） | |
| | 電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間 | <input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月 |
| | 会議録の確認方法 委員全員による確認 | |
| 傍聴者の数 | なし | |
| その他の必要事項 | なし | |

第6回朝霞市都市計画マスタープラン庁内検討委員会

令和7年4月25日（金）

午前13時30分から

午前15時00分まで

朝霞市役所 本館5階 501会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

都市計画マスタープランの策定について

4 閉 会

出席委員（10人）（代理出席1人）

| | | |
|---------|----------------------------|---------|
| 副 委 員 長 | 都市建設部審議監兼都市建設部次長兼まちづくり推進課長 | 村 沢 敏 美 |
| 委 員 | 市長公室市長公室次長兼政策企画課長 | 櫻 井 正 樹 |
| | （代理 市長公室政策企画課係長 | 石 崎 博 貴 |
| 委 員 | 総務部総務部次長兼財政課長 | 金 子 智 之 |
| 委 員 | 市民環境部市民環境部次長兼地域づくり支援課長 | 中 川 隆 |
| 委 員 | 都市建設部都市建設部次長兼開発建築課長 | 塩 味 基 |
| 委 員 | 都市建設部みどり公園課長 | 松 下 俊 一 |
| 委 員 | 都市建設部道路整備課長 | 深 澤 朋 和 |
| 委 員 | 上下水道部上下水道部次長兼下水道施設課長 | 久保田 哲 人 |
| 委 員 | 生涯学習部次長兼生涯学習・スポーツ科長 | 長 谷 修 |
| 委 員 | こども・健康部次長保育課長 | 玄 順 正 明 |

学識経験者（1人）

| | | |
|-----------|---------|---------|
| 学 識 経 験 者 | 麗澤大学准教授 | 須 永 大 介 |
|-----------|---------|---------|

事務局（6人）

| | | |
|-----|--|-------|
| 事務局 | 都市建設部まちづくり推進課主幹兼課長補佐 | 持田宏行 |
| 事務局 | 都市建設部まちづくり推進課都市計画係長 | 村岡拓 |
| 事務局 | 都市建設部まちづくり推進課都市計画係主査 | 戸塚隆一郎 |
| 事務局 | 都市建設部まちづくり推進課都市計画係主事 | 宮下洋子 |
| 事務局 | (株)国際開発コンサルタンツ東京支店 計画・交通課 プロジェクトマネージャー代理 | 矢嶋聡 |
| 事務局 | (株)国際開発コンサルタンツ東京支店 計画・交通課 | 万毅 |
| 事務局 | (株)国際開発コンサルタンツ東京支店 計画・交通課 | 伊藤彩夏 |

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

■議題「都市計画マスタープランの策定について」

○金子委員

将来のまちづくりに対する市民意向」から「全体構想」への矢印は、なぜ2つなのか。

○事務局

矢印は「将来のまちづくりに対する市民意向」が「将来像・将来都市構造」と「将来像の実現に向けた取り組みのテーマ」の2つにかかっていることを示している。

○金子委員

全体構想に対して1つの矢印にし、見た目をすっきりさせるのはいかがか。

○事務局

その方向で修正を進める。

○中川委員

第1章の矢印は第2章にかかっているが、参考資料の矢印は第2章にかからないのか。

○事務局

表現の仕方を検討させていただく。

○塩味委員

将来都市構造図から254号バイパスの沿道に商業施設を誘導することが読み取れない。商業施設を誘導することになった場合、県の都市計画課から指摘を受ける可能性があるため、具体的に記載する必要がある。

○事務局

将来都市構造図では「沿道土地利用の促進を図る」という記載をしている。

○塩味委員

「沿道土地利用の促進」の表現は良くないと聞いた。

○事務局

確認し、表現を改めていきたい。

「テーマ『にぎわい・活力』」の方針図に「⑥広域幹線道路沿道の特性を活かした産業用地の創出」と記載してあるが、これはいかがか。

○塩味委員

商業は産業に含まれない。

○事務局

工業と商業は産業に含まれる認識でいた。書き込みすぎないように注意しながら記載を改めた。

○深澤委員

「道路基本整備計画」の「朝霞市が目指すべき道路ネットワーク」では国道、県道、生活道路ではなく幹線道路と補助幹線道路を分けて記載しているので、それに倣った表現にしていただきたい。

○事務局

ご指摘いただいた部分について、データと時間不足で表現できていなかった。今後、表現を改めさせていただきます。

○事務局

主要生活道路と補助幹線道路のすみ分けを教えてください。

○深澤委員

「道路基本整備計画」に掲載されている。

○事務局

凡例も含めて整理を進める。

○深澤委員

「方針図（案）」の「④安全に生活できる身近な道づくり」の表現は、斜線を線で囲った方が見やすいのではないかと。半径の数値は根拠をもって設定したのか。

○事務局

高齢者の徒歩圏が半径500mであることを参考にし、子どもが通学する範囲を想定して設定した。図の表現は改めさせていただきます。

○石崎委員

「植栽と貯水性を兼ね備えた機能の整備」のイメージを教えてください。

○事務局

貯水性を兼ね備えたものをグリーンインフラと認識している。

○金子委員

「みずとみどり」の平仮名の表現をどのように決めたのか。

○事務局

「緑の基本計画」に倣って「みどり」という表現にした。「水・みどり」の表現にした場合、違和感をもたれる方がいらっしゃるのでは「みずとみどり」と表現している。「緑の基本計画」では、「みず」をどのように表現しているのか。

○松下委員

「緑の基本計画」では、水も含めた自然空間を総称して「みどり」という表現をしている。

○事務局

表現を整理する。

○玄順委員

9ページでは、「水と緑」と表現されている。

○事務局

表現を統一する。

○金子委員

「⑤みず・みどりを育てる」という表現は不適切ではないか。

○事務局

表現の仕方を検討させていただく。

○久保田委員

「②インフラの老朽化」に「遊具の更新・長寿命化」が記載されていることに違和感がある。

○事務局

担当課と議論を進めたい。

○松下委員

災害に備えるためのインフラと遊具の関連性を考え、表現を改めて考えていただきたい。

○久保田委員

老朽化対策と耐震化は別の観点であり、老朽化対策で耐震化を行ってはいない。

○事務局

八潮市の件を踏まえ、特だしをして記載した。インフラの強化という表現にするのはいかがか。

○久保田委員

「強化」という表現であれば問題ないと思う。

○石崎委員

資料2と資料3で「テーマ『快適な移動』」の配色が異なっている。

○事務局

資料3の色に合わせるようにして修正をする。

○長谷川委員

「方針図（案）」の「市全体」の番号が各テーマで異なっているのは、恣意的なものか。

○事務局

「実現に向けた取組（案）」のなかから、市全体で行う取組を抜粋して記載している。分かりやす

い表現に改める。

○塩味委員

当日はプロジェクターに資料を投影し、ポインターで示しながら説明すると分かりやすいのではないか。

○事務局

説明の仕方についても検討を進める。

○須永委員

将来都市構造図は、方針図を単純に重ねたものではなく、方針図を重ねたときの軸やエリアを改めて言及したものである。

将来都市構造図の拠点や軸と検討内容のイメージが合うように整理する必要がある。方針図の役割が曖昧になっている。

「方針図（案）」と「実現に備えた取組（案）」に記載される内容に対応させる必要がある。

「実現に備えた取組（案）」に記載されているなかで主要なものを「方針図（案）」に記載する。

主要なものを抽出するには時間がかかるので、次回の都計審では作業の方針を説明し、資料は最終段階でまとまっていればよいと思う。